

# 愛知県図書館 平成 26 年度 事業の点検・評価

『愛知県図書館の基本的な運営方針』（平成 26 年 8 月策定）の「V 事業計画の策定と点検・評価」に基づき、平成 26 年度事業計画の達成状況について、点検・評価を行いました。

1 すべての県民への図書館サービスの提供						
基本的な運営方針の記述			平成 26 年度の事業計画	平成 26 年度の達成状況(点検)	評価	
項目	行動目標					
(1) どこでも、いつでも使える図書館 誰でも使える図書館	ア どこでも、いつでも使える図書館	県図書館に来館することが難しい県民に対するサービスを充実させ、愛知県図書館を身近にします	協力貸出を申し込んでから届くまでの日数を短縮します	資料搬送計画の見直し	増便について市町村立図書館 2 館で試行した。資料搬送計画を見直し、予算の範囲内で増便を含めた計画を作成した。	○
			個人貸出を行っていなかった、地域資料を貸出できるようにします	実施計画の作成	市町村要覧・総合計画等の地域行政資料から着手し、段階的に対象を拡大する実施計画を作成した。	○
			雑誌を協力貸出の対象とし、市町村立図書館で利用できるようにします	協力貸出の対象とする雑誌の範囲の検討開始	協力貸出に必要な製本雑誌の書誌データの点検を完了した。	○
			遠隔地返却制度の対象範囲の拡大を図ります	新規参加候補の図書館との調整及び搬送計画の作成	平成 27 年度新規参加館を想定した計画を作成したが、候補館との調整までは行わなかった。 <b>範囲拡大の具体化に至らなかった</b>	△ ↑
			デジタル資料を積極的に導入します	自宅で利用できる音楽配信サービスの導入 郵送による利用カードの申込み・交付の開始	ナクソス・ミュージック・ライブラリーの配信を開始した。(4月) 郵便による新規の利用カードの交付を開始した。(4月) 郵便による利用カードの期限更新の受付を開始した。(3月)	○
	イ 誰でも使える図書館	様々な生活条件を担っている人へのサービスを充実させます	県図書館での障害者、高齢者、外国人などへのサービスを拡充します	障害のある人も使えるマルチメディアデジターの提供について検討開始	マルチメディアデジター導入のための編集ソフト購入について、次年度の予算を措置した。	○
			市町村立図書館との連携を深めます	県内の図書館団体と連携し、県及び市町村立図書館職員のために高齢者サービスに関する研修を実施	「図書館における高齢者サービスの意義と課題」を実施した。(愛知県公立図書館長協議会研修会)(9月)	○
	(2) 地域の文化・産業を支える図書館	ア 地域資料の収集・保存・提供	地域資料を重点的に収集します(重点分野を年度ごとに決めて収集します)	市町村史誌を重点的に収集	現時点で入手可能な市町村史誌は購入・寄贈により収集した。	○
			ホームページで公開している「貴重和本デジタルライブラリー」を拡充します	「貴重和本デジタルライブラリー」にさらに 30 タイトルを追加	『尾張国風土記』『三河後風土記』など新たに 30 タイトルを追加した。	○
			地域資料のデジタル化を推進します	地域資料のデジタル化の実施方法を検討	デジタルアーカイブの「絵はがきコレクション」に追加する絵葉書のデジタルデータを試作した。	○
ホームページ内に「愛知県関係資料ポータル」を新設します			Web 公開に向けて「愛知県関係資料ポータル」を作成	「愛知県関係資料ポータル」を試作した。	○	

【評価】 ○：計画通り又は計画を上回った △：計画をやや下回った ×：計画を大きく下回った

	イ 愛知の産業の発展に貢献する資料の提供	産業の発展に貢献する資料を提供します	産業分野に関連する資料を重点的に収集します	航空宇宙産業に関する資料を積極的に収集	航空宇宙産業に関する図書を約 60 冊収集した。 (平成 25 年度 41 冊、平成 24 年度 34 冊)	○
(3)	仕事や生活に役立つ図書館	県民が必要とする情報を速やかに提供するためのサービスの充実を図ります	情報の入手に有効なオンラインデータベースを積極的に導入します	新しいデータベースの導入の検討	新しく導入するデータベースの候補について、他県の状況をみながら検討した。	○
			資料の配置や表示をより利用しやすいものにします	資料の配置や表示の点検を行い、案内方法を検討 直接手に取って選べるAV資料を増やすため開架化を推進	分類によって別々の場所に置かれている資料(コンピュータや電気通信関連等)を一か所にまとめるなど、利用者に使いやすい配置にした。 書架の表示を点検し、見やすくなるよう作り直した。 AV資料の開架化が完了した。	○
(4)	若い人に読書の愉しみを伝え、知の力を育てる図書館	児童と大人の間にある若年層に向けて、読書の重要性を呼びかけます	若年層に向けた新しいイベントを開催します	他館における若年層向けイベントの調査 ホームページなどを利用して若年層からの意見を収集	他館の若年層向けイベントについて、情報収集を行った。 体験学習や見学に訪れた学生・生徒 25 名を対象に、関心のあるイベントについてアンケート方式で意見を収集した。	○
			インターネットを利用した若年層向けの情報発信を充実します	若年層に向けた新しいコンテンツを検討し、ホームページを充実	ツイッターを利用した情報発信を継続中。 ティーンズコーナーを紹介する動画「おしえてホリー」を HP 上に公開した。	○
			高等学校など関係機関との連携や支援を実施します	学校図書館担当者との情報交換を行い必要な支援を検討	平成 25 年度に引き続き、学校図書館への協力貸出送料無料キャンペーンを実施し、10 校へ 416 冊を貸出した。	○
(5)	生涯学習を支える図書館	図書館を生涯学習の場として活用できるようにします	資料や情報を利用するための力の向上のお手伝いをします	利用者向けに、図書館システムの使い方や、データベース、参考図書の使い方を紹介する調べ方講座を開催	調べ方講座を 2 回開催した。(7 月子ども向け/12 月一般向け)	○
			ボランティア活動の機会を提供するとともに、ボランティアとの協働を充実します	おはなし会サポーターの勉強会を開催	おはなし会サポーターの勉強会を開催した。(3 月)	○
			資料や情報を媒介としたコミュニケーションの場の提供に努めます	利用者参加型イベントを実施	聴衆に対しおすすめ本の紹介を競うビブリオバトルを開催した。(9 月) 参加者同士で本の魅力を語り合うブックパーティを初めて開催した。(11 月)	○

【評価】 ○：計画通り又は計画を上回った △：計画をやや下回った ×：計画を大きく下回った

2 市町村立図書館等への支援					
基本的な運営方針の記述			平成 26 年度の 事業計画	平成 26 年度の達成状況(点検)	評価
項目	行動目標				
(1) 資料の 提供		県内の図書館の所蔵資料に関する情報を迅速・的確に入手できるようにシステム等を整備します	雑誌・新聞総合目録のデータベース化	雑誌・新聞総合目録のデータベースを更新した。(3月)	○
(2) 除籍される資料の 保存とあいちラ ストワン・プロ ジェクトの推 進	広域的な観点に 立って資料の提 供・保存に取り 組めます	県内最後の1冊となる資料を保存します	あいちラストワン・プロジェクトの資料の受入・整理を開始	必要となる規程を整備した上で、10月から本実施した。 ○参加館 県図書館、39 市町村の図書館(未参加 9 市町)。 ○照合用提供データ 約 702 万件(36館) ○ラストワン特定 約 131 万冊 ○県図書館への受入 427 冊(14 館) 3 月末までに 411 冊の整理を完了。	○
(3) 運営の助 言	市町村立図書館等がより質の高いサービスを提供できるよう、運営を支援します	県図書館へのニーズを把握するため、職員による市町村立図書館訪問を実施します	市町村の中央図書館を 24 館以上訪問	職員による市町村立図書館訪問を実施した。 ○図書館訪問 13 館・会議出席 3 館・研修講師 9 館(計 25 館)	○
		図書館未設置町村の公民館図書室への支援を充実するとともに、自治体の理解を促します	図書館が設置されていない町村の公民館図書室を訪問し、読書活動の推進を働きかけ	豊根村(教育委員会、教育文化センター・森遊館、富山支所の 3 か所)を訪問し、聞き取り調査を実施した。(11月)	○
(4) 人材の 育成		市町村立図書館の人材育成を支援します	県教育委員会や関係団体との連携による研修事業を実施	愛知図書館協会や愛知県公立図書館長協議会と連携して研修事業を計 8 回実施した。	○

3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成					
基本的な運営方針の記述			平成 26 年度 の事業計画	平成 26 年度の達成状況(点検)	評価
項目	行動目標				
(1) 「資料搬送・ 情報」のネ ットワーク	個々の図書館では実施できないサービスの充実を図ります	効率的な資料搬送ネットワークによる相互貸借体制を維持・発展させます	東海・北陸地区の定期便を発展させるため関係図書館の意向を照会	岐阜・三重・富山・石川の各県との間には定期便があるが、残る福井県立図書館との間で、10 月末から相互貸借資料の定期便の試行を開始した。	○

【評価】 ○：計画通り又は計画を上回った △：計画をやや下回った ×：計画を大きく下回った

(2) 「にぎわい」 のネットワーク		県内図書館等と連携したイベントの充実を図ります	県内公立図書館連携イベントを開催し、共同で広報を実施	県内市町村立図書館と連携して、@ライブラリーとして共通テーマ(第1回サイエンス/第2回ESD)のイベントを同時期に各地で開催し、共同で広報を行った。	○
(3) 「人」の ネットワーク	新たなネットワークづくりに力を入れ、サービスの輪を広げます	図書館の関連機関との人的な連携を深めていきます	大学や行政機関と協力し、講演会や資料展示などのイベントを実施	大学、行政機関との人的連携を深めた。 ○名古屋大学からサイエンスセミナー(全4回)への講師派遣。 ○県教育委員会の埋蔵文化財センター所蔵史料の展示及び公開講座各2回共催。 ○県警察本部から防犯講座への講師派遣。 ○その他、県環境部、県地域安全課(NPO含む)、県防災局、日本政策金融公庫等と展示協力。	○
(4) 「危機対応」 のネットワーク		県内外の図書館や図書館関係団体等との連絡調整に努めます	東海・北陸地区の図書館との関係を強化	東海北陸地区県立・指定都市立図書館長会議において情報交換を行った。(8月)	○

4 図書館活動を支える県図書館の体制の整備						
基本的な運営方針の記述			平成26年度の事業計画	平成26年度の達成状況(点検)	評価	
項目	行動目標					
(1) 拠点図書館としての資料の収集と保存	ア 多様な資料の収集	拠点図書館として必要とされる資料の拡充や保存に向けて行動します	資料収集計画を策定し、市町村立図書館では購入しにくい資料などを計画的に収集します	資料収集計画に基づき資料を収集	県立図書館として必要な資料を精選するため、蔵書構成のバランスと重点収集を考慮した平成26年度資料収集計画を策定し、計画的に資料収集を実施した。	○
	イ デジタル資料への対応		デジタルで利用可能な資料への対応を図ります	デジタルデータで提供される資料に対応するための調査を実施	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを平成27年度から提供するため準備した。	○
	ウ 資料の保存		資料の補修の方針を策定し、計画的に実施します	資料補修の方針策定に向けて調査・検討	対象となる資料や補修方法など、資料補修の基本的な考え方をまとめた。	○
(2) 職員の育成と効率的な組織づくり	ア 職員の育成	研修や人材育成を行うとともに、組織と業務を精査します	人材の育成に努めスキルアップを図ります	館内レファレンス研修を10回実施	館内レファレンス研修会を11回実施した。	○

【評価】 ○：計画通り又は計画を上回った △：計画をやや下回った ×：計画を大きく下回った



	イ 効果的な組織づくり		組織運営の点検・見直しを行い、改善を図ります	組織運営の点検・見直し	人事評価制度の活用と職場研修の実施により効率的な組織づくりに努めた。 毎月1回各グループの班長で構成する会議を開催し館内の諸課題を協議した。	○
研究・開発	(3)新たな図書館サービスの調査	県民や市町村立図書館の意見を踏まえ、新しい方向性を探ります	新しい図書館サービスを調査研究し、先進的なサービスを試行します	他県の事例を調査	映像配信サービスや電子書籍、双方向のSNSなどについて、ホームページなどから他県の先進事例の情報を収集した。	△ ↑
					他県を直接訪問したり照会したりはしなかった。	
(4) 利便性の高い施設づくり	ア 快適・安心な施設づくり	快適に安心して使える施設をめざします	居心地良く快適に利用できるよう、施設環境を整備します	閲覧席など備品類の状況を点検	点検を行い、一部の修繕を実施した。(10月) 次年度以降の修繕計画を作成した。	○
				施設の環境整備について検討	利用者から寄せられた要望・意見を基に環境改善を検討した。そのうち階段照明の照度アップ、歩道上で駐車待ちする利用者への注意喚起掲示などを実施した。	○
	イ サービスの水準を高める施設づくり		調査を行い、優先順位を決定	優先順位を決定し、冷温水発生器の修繕及び無停電電源装置の更新について次年度の予算を措置した。	○	
			機能整備について検討	機能整備について検討した結果、資料収蔵スペース増のため地下書庫の書架増設が必要だという方向性を確認した。  書架増設の具体的道筋をつけるには至らなかった	△ ↑	
(5) 効果的な広報活動	ア 多様な広報手法の活用	県図書館をより多くの方に知っていただくために、従来の広報手法に加えて新しい手法も展開します	スマートフォン対応のホームページを整備します	トップページのスマートフォン対応を実施	新システム導入時にスマートフォン対応のページを公開(平成26年3月)した後に調整を続け、4月に本格運用を開始した。	○
	イ 人が集まるホームページづくり	利用者の読書活動を支援する機能の充実に努めます	ホームページに子どもの読書活動を支援するページを設置します	ホームページに子どもの読書活動を支援するページを設置するための計画を立案	新しい児童図書や児童図書室の催し物を紹介する「こどものページ」を開設した。(3月)	○
	ウ 他機関との連携による情報発信	情報発信を新たなサービスの検討に活かします	他機関と連携して互いの行催事の情報発信します	他機関と連携した資料展示や講演会を通じて情報発信	名古屋大学のサイエンスフェスティバルに、関連する企画展示「サイエンスがおもしろい」を登録・参加し、相互のHPで情報を発信した。 ESD世界会議のパートナーシップ事業に、企画展示「地球の未来を考える」を登録・参加した。	○

【評価】 ○：計画通り又は計画を上回った △：計画をやや下回った ×：計画を大きく下回った